

母子家庭等への
支援策の充実を

田中喜久子

厳しい生活状況にある母子家庭への常用雇用奨励策や住宅支援策の取り組み状況は。佐賀市は母子の生活実態調査もきちんとやられている。実態調査も含めひとり親家庭支援総合対策プランを策定し、支援の受け皿充実を図るべきでは。

答弁 雇用奨励策として

廃止路線の
見直し計画は

副島 義和

市営バスには川上線と佐賀駅池森橋経由池上、中極線行きがあったが現在廃止路線である。見直す予定は。市営バスの七十五歳以上のワンコインシルバーパスの恩恵を民間バスしか通らな

母子及び寡婦自立促進計画を策定したいと考えている。

◆その他◆市政事務のありようについて

市営バス貸切事業
の再開の検討は

松尾 和男

バスの貸切事業を廃止したのは交通局を廃止・民営化する手順であったが、行革推進会議でも貸切バスの復活が話題に上がっていた。合併により新たな観光資源

も増えているので、地域間交流ができるよう貸切事業の再開は考えられないか。

答弁 バスの貸切事業については、累積赤字を抱えて厳しい経営状況にある交通事業の経営体質をスリム化し、経営改善を図るため、平成十六年度で廃止した。再度貸切事業を行うためには、免許の取得、専用バスの購入、営業スタッフの配置などが必要となり、佐賀市としても現在進めている経営改革プランの見直しにかかわる問題となる。よって従来型の貸切事業は難し

いと思うが、新たな増収源を求める必要があるのか。こういうニーズがあるのか調査をしていきたい。

◆その他◆産業遺産群について



佐賀市交通局

い北部地区にも。民間バス、福祉バス等での対応策を。

答弁 川上線は、民間バスが同じ区間を運行しており市営バスの実質廃止区間が尼寺から川上までと短かったため、池上線、中極線は、国県補助を受け運行していたが一便平均〇・九五人と利用者が少なく補助要件にも該当しなくなったため廃止した。これらの経

新佐賀市の施策
方針と予算編成

白倉 和子

①合併後初の通年予算となる来年度予算の編成基本方針は②公約である「合併」の実現に対する市長の思いを裏付ける周辺部への予算的配慮を問う③大佐賀市において市民が主役の「地域

主体」「住民自治」をどう確保していくのか。

答弁 ①予算の効率的執行と財源の増収確保を図り、後年度の財政負担増に対処できるよう、施策ごとの枠配分予算とインセンティブ予算を引き続き実施し、各部各課の主体性の確保と予算執行の効率化を図る②合併新市基本計画の実現を図り、公平公正に、均衡ある

予算編成に注意していく③地域審議会、市長と語る会、移動市長室、パブリックコメントや提言箱等、今後さまざまな機会を通じて市民の皆様の声をお聞きし、市政に反映させていく。

◆その他◆道路行政について／有明海の再生について

※1 インセンティブ予算 予算の節減に成功した場合、翌年度の予算編成で節減相当分の一部を自由に使える予算として配分するもの。使い切り予算の弊害をなくすとともに、事務事業の実施方法の改善を進め、予算執行の効率化が図れる。

旧城西中跡地を三世代等交流場所に



片淵 時汎

高齢者の方々にいつまでも元気で過ごして欲しい、次の世代を担う青少年が健全に育って欲しいと願う多くの市民にとって、気軽にできる健康づくりや三世代等の方々がふれあう交流の場として旧城西中跡地を整備することの考えを問う。

答弁 旧城西中学校跡地を都市公園化することについては、平成十九年四月城西地区に本庄公園がオープンしていること、また全市的にバランスよく計画的に公園をつくっていくことが必要であり公園整備が済んでいない地区もあることから、現時点で都市公園として整備することはかなり困難である。ただ、運動広場を持つ公園として、簡易な整備等が実施可能かどうか、またどのような整備手法があるのか、財政面等を見ながら関係部署と協議していきたい。



旧城西中跡地

◆その他◆市民の「ためになる」公共下水汚泥処理を市職員の法令等の遵守／樋門・樋管等の維持管理

部活動の大会出場機会の確保を



平原 嘉徳

部員不足による県中体連の複数校合同チーム編成規定では、剣道・柔道・ソフトテニス・卓球の種目が個人戦のみの出場で団体戦は適用外となっており、出場機会を奪われる学校も出て

くる。団体戦も出場できるよう県に求めるべきでは。

答弁 複数校合同チームが編成できるのは、団体戦のみで個人戦がない、バスケットボール、バレーボール、サッカー、ハンドボール、軟式野球、ソフトボールの六競技である。佐賀市では、卓球とソフトテニスについても、今年度から団体戦に合同チームで参加で

きるようになっていく。せっかく練習してきた子どもが、より大きな大会で力を発揮できるようにするためにも、今後、県、九州、全国レベルの大会で合同チームが編成できるように働きかけを行っていきたい。

◆その他◆観光政策とイベントについて

12月13日(木)

最低価格制度の導入を急げ



黒田 利人

近年、市発注の工事における落札金額と希望価格との差が広がっている。安いとその工事の品質が確保されるか疑問である。よって適正価格の入札制度を確立させるために、最低価格制度の導入が急務であると思うが、市の考えを問う。

答弁 低入札価格調査制

ペット霊園の設置に一定の規制を！



中本 正一

ペット霊園は、規制する法令がなく、設置や建設をめぐる各地で住民トラブルが増えている。住民と霊園事業者とのトラブルを未然に防ぎ、市民の生活環境を保全するため、ペット霊園

の設置に対し、一定の規制を講じるべきではないか。

答弁 近年の少子・高齢化及び核家族化の進展に伴い、ペットを家族の一員としてとらえ、その死後においても埋葬して供養する方々が増えている。佐賀市ではこれまでペット霊園の設置に伴う苦情や相談は寄せられていないが、今後トラブルの発生は十分考えら

れる。自治体によってはペット霊園の設置に関する条例や要綱を定め、トラブル回避の方策をとられているところもあるので、先進地の事例を参考にして対応策を検討したい。

実施するよう内部で検討をしている。

◆その他◆姉妹都市、友好都市の今後のあり方について／市内の青少年施設のあり方について

◆その他◆新佐賀市の市政運営について／原油高騰による佐賀市への影響と対応策について

「知的障がい者」へ 正規雇用の道を



井上 雅子

四年前の議会で、とりわけ就労が厳しい「知的障がい」を持つ人の雇用創出を約束されたがその後の推移と現状は？他市では既に正規雇用の道も開かれている。本市における正規雇用への

検討と雇用拡充に向けた今後の方針と見解を問う。

答弁 市の知的障がい者の雇用状況は嘱託職員として現在三名雇用。原則最長五年としている嘱託職員の任期は、障がいを持つ人たちへの均等な雇用機会の提供ということからすると一定の期限は設定せざるを得ない。市として障がいを持つ人の雇用に関し明らかに

方向性を持っていないため、他都市の状況等を詳しく調査したい。雇用拡充については、知的障がい者が働ける場所がないか協議している部署もあるため、障がい福祉担当からも各部署へ雇用創出をお願いしていく。

◆その他◆学力テスト、平等教育、学童保育等の教育行政について

市職員の採用について



重田 音彦

佐賀市では市職員の採用は二十二歳以上になっている。県内の他の自治体及び九州の各県庁所在市は十八歳以上になっている。佐賀市でも十八歳以上に変更するべきだと思うが、見解を

問う。

答弁 現在の市職員採用試験では学歴要件はなく、年齢要件を二十二歳以上として、大学卒業程度の教養試験で実施している。しかし、地元の雇用ということも考慮し、他の自治体同様、高校卒業程度の方の採用も考えていく。実施時期は、現在の試験内容で年齢だけ十八歳にすると不公平にな

るので、高校卒業程度の教養試験を別途実施する必要もあり、できるだけ平成二十一年度採用からの実施に向けて、検討していきたい。

◆その他◆嘉瀬川ダム問題について／温泉地活性化計画について／選挙の投票所の統合について

12月14日(金)

アセットマネジメントの取り組みを



嘉村 弘和

厳しい財政状況が続く中で、今後、公共施設の更新が多く出てくる。延命化を図り、投資額を縮減するための適切な点検と評価を行い、将来の状態を予測するアセットマネジメントの取り組みが求められるが、見解を問う。

答弁 合併により増加した公共施設の維持管理面では、安全性と利用者の満足度を確保しつつ経費を低減していくことが重要である。アセットマネジメントの手

法は長期的な視点で見ると、維持管理コストの低減が図られ、財政負担の軽減につながるものと見込まれることから研究を進めていく必要があると考えている。この手法に取り組んでいる自治体は多くないと聞いており、

工業団地について



西村 嘉宣

久保泉工業団地は完売さ

当方も勉強していないのが実態であるが、早急に先進地の取り組みを調査、研究し導入につなげていきたい。

◆その他◆佐賀市独自等級算出について／佐賀市環境センターの業務委託と廃食用油回収事業について

れ、投資した費用は税収で回収しつつある。元気な佐賀市をつくるためには、攻めの姿勢が大切。①現在地に増設の考えは②周辺の道路整備は③ざわざわ池西側の植栽について地元との調整はどうされたのか。

答弁 ①現在地周辺の増設は農地転用の許可、農用地区域からの除外等困難が予想される。新たな工業団地の整備は都市計画法等の法規制も含め大きな財政負担と長い時間がかかるため、慎重に検討し、遅くとも今

年度中には方向性を示したい②上和泉交差点も含め、周辺の交通支障箇所調査等は実施しているが、地元や関係機関との協議には至っていない。早急に協議を行いたい③保安上の問題もあり地元の意見を聞く必要があったと反省している。今後は相談しながら進めたい。

◆その他◆交通問題／公衆用トイレについて



右折レーンがない交差点（久保泉工業団地周辺）

※2 アセットマネジメント 一般的には金融資産の効率的運用を言うが、公共施設等に対して使用する場合は、公共施設等を資産ととらえ、その損傷・劣化等を将来にわたり把握することにより最も費用対効果の高い維持管理を行う概念。